

# 県老健 平成23年度 第4回看護部会研修会 アンケート集計結果

研 修 日 : 平成 24年 2月 8日 (水)

会 場 : ウィリング横浜 12階  
研修室 126・127 号室

テ ー マ : 高齢者の呼吸器疾患について

講 師 : 神奈川県老人保健施設協会 副会長  
介護老人保健施設 さつきの里あつぎ 理事長  
中 佳一 先生

参 加 人 数 : 63 名

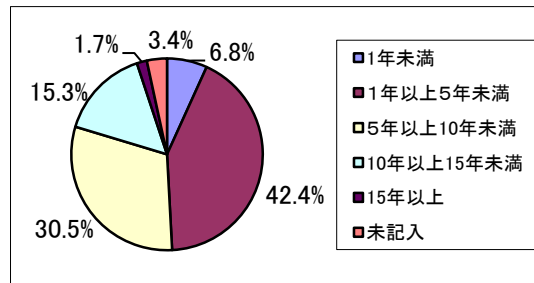
集計枚数 59 枚

集計日 平成24年2月9日

☆ 参加者について ☆

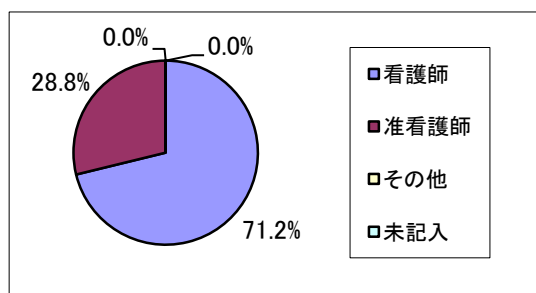
①老健施設 経験年数

1年未満	4名	6.8%
1年以上5年未満	25名	42.4%
5年以上10年未満	18名	30.5%
10年以上15年未満	9名	15.3%
15年以上	1名	1.7%
未記入	2名	3.4%



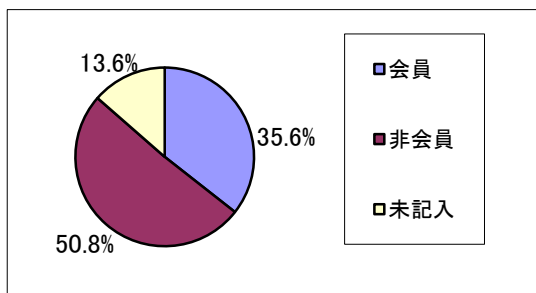
②職種

看護師	42名	71.2%
准看護師	17名	28.8%
その他	0名	0.0%
未記入	0名	0.0%



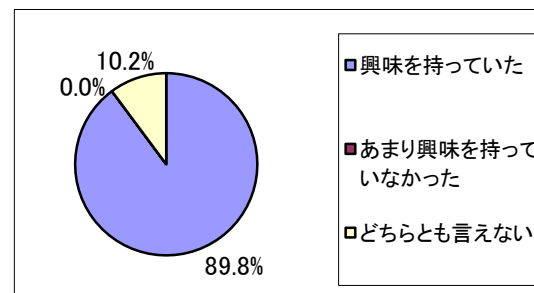
③看護協会入会の有無

会員	21名	35.6%
非会員	30名	50.8%
未記入	8名	13.6%



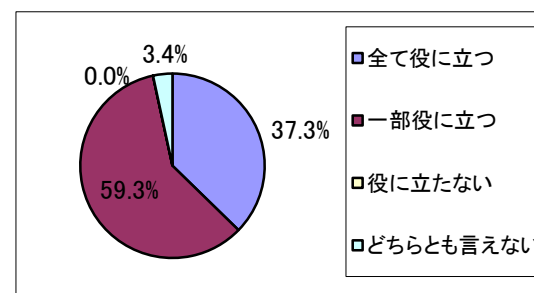
1.研修について

① 興味を持っていた	53名	89.8%
② あまり興味を持っていなかった	0名	0.0%
③ どちらとも言えない	6名	10.2%



2.実践への応用について

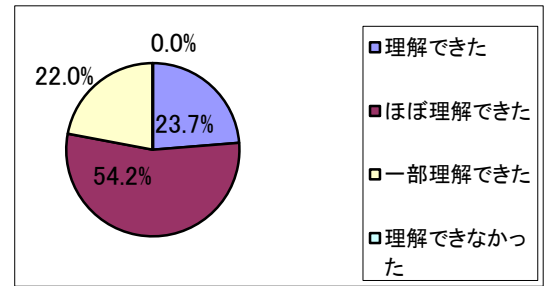
① 全て役に立つ	22名	37.3%
② 一部役に立つ	35名	59.3%
③ 役に立たない	0名	0.0%
④ どちらとも言えない	2名	3.4%



### 3.理解度について

No.2

① 理解できた	14 名	23.7%
② ほぼ理解できた	32 名	54.2%
③ 一部理解できた	13 名	22.0%
④ 理解できなかった	0 名	0.0%



### 4.研修全般の感想(複数回答)

① 内容のレベルが高すぎた	5 名
② 内容のレベルが低すぎた	0 名
③ 期待していた内容と違った	9 名
④ 問題解決の糸口が得られた	28 名
⑤ 今後の課題や方向性をつかめた	32 名
⑥ 他の施設と問題の共有ができた	11 名
⑦ その他	3 名
⑧ 未記入	2 名

### 5.感想・今後希望される研修テーマ

- ・ 講師である中先生の施設に対して理解があることが大変嬉しかった。  
緊急時における、入所者様への対応の困難さを毎日感じています。  
老健患者の受け入れ病院の理解が、もう少しあればと思います。  
大変役に立ちました。ありがとうございました。
- ・ 高齢者の治療をどこまで倫理的問題・課題にもふれ考えさせられた。  
今後の大きな課題となる施設での方針の検討も必要と思えた。
- ・ 質問内容から、他施設も同様の悩みを持っていることを感じた。  
肺炎での治療をどこまでするか、いつまで繰り返すのか、自分たちにとっても重たい課題であり  
職場に持ち帰り共有したいと思う。
- ・ 施設のことを考えながら聞きました。  
改めて呼吸器についての確認作業ができました。  
今後は循環器についての研修があったら幸いです。ありがとうございました。
- ・ 講義の順序と資料の順序が違っていたので、探しづらかった。  
質問をざっと話すのではなく、どのような質問内容だったのかも知りたかった。
- ・ 入所者様が具合が悪くなったり、誤嚥性肺炎など繰り返すと、スタッフが家族から責められたり  
原因が施設内での対応に問題があるのではないかと、など説明を求められるなど気落ちすることも  
多いが、最後の中先生の“頑張ってるんだから自信持って胸張って、このままでいいんだ”という  
言葉に、少し救われました。
- ・ 話にまとまりがなく、わかりづらかったです。  
呼吸器疾患を持つ患者様のケアに必要なこと、注意して観察する点など、話してほしかったです。  
認知症によるものか精神疾患によるものか。  
最近、食事・水分摂取低下している入所者が増えています。  
どのような対応をしているか、など、教えてほしい。

### ( 5.感想・今後希望される研修テーマ つづき)

- 実際の家族との連携手段など、参考になった。また、機会があれば参加したいです。  
今後、法の改正された際など、施設としての活動方針の留意(主に重症系利用者の対策等)がフレキシブルに勉強できれば良いなと感じています。
- ①最近では個人の権利主張をされる家族が多い。  
特に施設に病院並み、またはそれ以上にケアを望まれる家族が多く、対応に戸惑うことがあるので家族との関わり方などの研修会があると有難いです。  
②PEG造設の社会問題についても、研修してほしいです。
- 施設内での感染症発症時の対応の仕方。  
心疾患について。  
高齢者に多い皮膚疾患について(褥瘡は除く)。
- 皮膚疾患もやってもらいたい。
- 施設で多い肺炎での予防や対応等、知りたかった。
- バルン管理について、前立腺肥大一尿閉、尿路感染、結石、腎不全・腎盂炎 等  
ウロに関する学習会。
- 高齢にて呼吸器疾患が多いので、勉強になった。  
老健では皮膚疾患が多いので、皮膚疾患についての研修。
- 認知症の看護や注意点について。  
UTI(尿路感染症)について。
- ご家族様との連絡についてもお聞きすることができて良かったです。
- レベルも高いが、わかりやすく、心情的にも満足いくものでした。  
日々行なっていることが大事なことであり、改めて思うことができ、とても良かったです。  
ありがとうございました。
- お忙しい中、研修の計画ありがとうございます。  
その中、施設からの出席を出せず恐縮です。  
これからも老健の看護師が輝けるよう、ご指導お願いします。  
一つ提案です。  
昨年の看護研究発表会では、他の施設の状況が聞けて、とても参考になることがありました。  
発表会だけだと聞きたいこと、知り得ることが少ないので、一課題に対するグループワークがあると良いと思います。老健看護力の平均化。
- 施設において褥瘡の処置、高齢者の施設において看取りなど、勉強してみたいです。  
※ スライドが少し見にくかったような気がします。
- スライドが見えるか、最初心配だったが、手元に資料があり、先生の貴重なお話を書きこみができて良かったです。
- 治療的な部分も多く難しいと感じましたが、抗生剤の使用法や医師の診断の基準などがわかりました。  
ただ、医師が不在の時もあるので、呼吸状態、肺音などで呼吸器疾患(肺炎など)の判断ができるような内容があれば活用できると思いました。
- 今日ありがとうございました。  
私たちが日頃行っている看護行為に、「胸を張っていい」と背中を押してもらえた言葉が嬉しかったです。
- 薬の内容が、とても深く勉強になりました。

## ( 5.感想・今後希望される研修テーマ つづき)

- ・ 看取りの現状について研修希望します。老健での連携について。
- ・ 今やっている看護に自信を持って良いこと、家族への説明をきちんとして理解を得ていく必要性を痛感した。
- ・ 心疾患、看護師として救急対応が必要と思われる状態、手順等、お話を伺いたいと思います。
- ・ 施設での看取りについて(各施設の基準や看取りについてのとらえ方 等)
- ・ 老健での勤務経験がまだまだ浅いため、とても役に立った。  
肺炎の中でも多い誤嚥性肺炎に対する予防ケアとして、口腔ケアが嚥下レベルでの各ケースにおける適切なケア・関わり等の研修等があれば参加したいと思いました。
- ・ 認知症、BPSD対応、本当に施設でどうしているか、きれいごとでなく。
- ・ 基礎勉強の見直しを含め、勉強をさせて頂いた。  
呼吸器(肺炎)に対して、実質、間質の違い、音の状態を再度考えさせて頂いた。  
疾患に対してケアをしていく側の対処を、もっと勉強していきたい。
- ・ 施設の仕事をよく理解して下さった回答などで、勇気づけられた。
- ・ 施設経験が2年未満なので、病院対応なのでは？と思うことが多く、どの段階で受診を勧めて良いのか判断しかねていましたが、本日の講習を受け、理解できました。  
また、ケアによる誤嚥性肺炎になることも多いと思います。今後注意しながら行ないたいと思いました。  
次回は肺雑の音の違い等について伺いたいです。
- ・ 家族との関わり方(冷凍庫、3ヶ月に1度手紙を書く)の話が、具体的で理解しやすく勉強になりました。  
抗生剤の特徴が理解できました。
- ・ 認知症の方の対応
- ・ 薬の投与方法(種類・量)を理解できた。  
高齢者にとっては抵抗力、免疫についてがとても大切であり、それが若い方との医療の違いを感じました。また、どこまでがその人にとって必要な治療かを考えなくてはならないということがとても大切と思い、その人の尊厳ではないかということ学びました。
- ・ 老健施設における呼吸器疾患対策で、非常に参考になりました。  
(希望する研修)テーマ 食事と排泄についての関係
- ・ 精神科患者の家族に対してのムンテラについて。  
家族は病識に乏しい場合、どうムンテラしたら良い？